

活動実績

■ 沿革

- » 2005年 浜松乳癌情報局 発足
- » 2005年 - 乳がん合同検討会（現在 乳がん症例検討会 on the Web）
- » 2006年 - 乳がん市民公開講座
- » 2007年 NPO 法人 がん情報局 設立
- » 2007年 - 浜松オンコロジーフォーラム
- » 2008年 - 遠隔地多地点連携 カンファレンス
- » 2009年 - 中部乳がん会議
- » 2010年 - 活動報告会
- » 2011年 - がん看護フォーラム
- » 2012年 - 遠隔地多地点連携 看護カンファレンス

■ 目次

活動報告会	2
乳がん市民公開講座.....	4
浜松オンコロジーフォーラム.....	9
中部乳がん会議.....	16
がん看護フォーラム 21	20
乳がん症例検討会 on the Web.....	24
遠隔地多地点連携（看護）カンファレンス（たちてん・たちてん看護）.....	26
遠隔地多地点連携カンファレンス開催実績	27
遠隔地多地点連携看護カンファレンス開催実績	28
広報媒体	29
今後の主な活動予定.....	30

2021年 5月現在

活動報告会

担当理事 渡辺

がん情報局の活動についてのご報告をさせて頂く機会を設けております。

第1回 2010年8月6日：参加人数 34名（御茶ノ水杏雲ビル 佐々木記念ホール）

基調講演「だれにどんな情報を提供すべきか -がん医療の適正化のために-」

浜松オンコロジーセンター 腫瘍内科 渡辺 亨 先生

第2回 2011年7月29日：参加人数 38名（御茶ノ水杏雲ビル 佐々木記念ホール）

基調講演「がん情報局活動の これまでとこれから」

浜松オンコロジーセンター 腫瘍内科 渡辺 亨 先生

第3回 2012年7月20日：参加人数 38名（浜松市市民協働センター）

講演「NPO 法人と地元企業との関わり」

社団法人 ピア 佐藤 真琴 さん

基調講演「がん診療の近未来を考える」

浜松オンコロジーセンター 腫瘍内科 渡辺 亨 先生

第4回 2013年11月22日：参加人数 29名（御茶ノ水杏雲ビル 佐々木記念ホール）

基調講演「乳癌学会改革を通して 学んだこと」

浜松オンコロジーセンター 腫瘍内科 渡辺 亨 先生

第5回 2014年11月21日：参加人数 23名（御茶ノ水杏雲ビル 佐々木記念ホール）

基調講演「がん情報局 新たな展開」

浜松オンコロジーセンター 腫瘍内科 渡辺 亨 先生

第6回 2015年11月27日：参加人数 22名（御茶ノ水杏雲ビル 佐々木記念ホール）

基調講演「がん情報リテラシーを考える」

浜松オンコロジーセンター 腫瘍内科 渡辺 亨 先生

第7回 2016年11月27日：参加人数35名（御茶ノ水杏雲ビル 佐々木記念ホール）

基調講演「臨床試験の副産物」

浜松オンコロジーセンター 腫瘍内科 渡辺 亨 先生

第8回 2017年11月24日：参加人数24名（御茶ノ水杏雲ビル 佐々木記念ホール）

基調講演「不確実性の許容されない時代は歓迎すべきか？」

浜松オンコロジーセンター 腫瘍内科 渡辺 亨 先生

第9回 2018年11月29日：参加人数26名（御茶ノ水杏雲ビル 佐々木記念ホール）

基調講演「世の流れに従うのが賢いか それとも逆らうのが賢いか 考えて見ましょう」

浜松オンコロジーセンター 腫瘍内科 渡辺 亨 先生

第10回 2019年9月13日：参加人数19名（御茶ノ水杏雲ビル 佐々木記念ホール）

基調講演「最近の活動状況の報告」

浜松オンコロジーセンター 腫瘍内科 渡辺 亨 先生

第11回 2020年9月18日：参加人数21名（web開催）

基調講演「Thanks to COVID-19」

浜松オンコロジーセンター 腫瘍内科 渡辺 亨 先生

第12回 2021年9月18日：参加人数25名（web開催）

基調講演「COVIDに負けて COVIDに勝つ 新しい時代の活動はこれだ！！」

浜松オンコロジーセンター 腫瘍内科 渡辺 亨 先生

乳がん市民公開講座

担当理事 小倉

参加対象者は一般市民を始めとした患者、家族、医療関係者、どなたでもとし、専門家による基調講演を行った後に、参加お申し込みの際に頂いた質問に対してパネリストが回答するという聴衆参加型の公開講座で、NPO 設立前の 2006 年より定期的に開催しております。2020 年に関しましてはコロナ禍によって開催を見送っております。

第 1 回 2006 年 2 月 19 日：参加者数 206 名（アクトシティ浜松 コンgressセンター）

テーマ：「乳がん、あなたの疑問に何でも答えます」

基調講演：「乳がん治療の実際－ガイドラインの使い方－」

浜松オンコロジーセンター 腫瘍内科 渡辺 亨 先生

第 2 回 2006 年 8 月 20 日：参加者数 240 名（アクトシティ浜松 コンgressセンター）

テーマ：「再発なんか怖くない！-現状と挑戦-」

基調講演：「乳がん再発後の治療について」

聖路加国際病院 乳腺外科 中村 清吾 先生

第 3 回 2007 年 2 月 18 日：参加者数 220 名（アクトシティ浜松 コンgressセンター）

テーマ：「一緒に考えます！あなたの診断 あなたの治療」

基調講演：「乳がんの画像診断 - 検診・診断における画像検査の意義」

筑波大学 臨床医学系放射線科 東野 英利子 先生

第 4 回 2007 年 8 月 19 日：参加者数 238 名（アクトシティ浜松 コンgressセンター）

テーマ：「顕微鏡でわかるがんの性格 -最適な治療を目指して-」

基調講演：「顕微鏡でわかるがんの性格 -病理医って何？-」

癌研究会癌研究所 病理部 秋山 太 先生

第 5 回 2008 年 2 月 17 日：参加者数 225 名（アクトシティ浜松 コンgressセンター）

テーマ：「伝えよう自分の思い -患者と医師とのコミュニケーションを考える-」

基調講演：「医師との上手な付き合い方 -始めに愛と敬意ありき-」

あけぼの会 ワット隆子 さん

第6回 2008年8月17日：参加者数182名（アクトシティ浜松 コンgressセンター）

テーマ：「 がんところのケア～精神腫瘍学ってなに？～ 」

基調講演：「 がんところのケアを考える 」

名古屋市立大学精神・認知・行動医学分野 明智 龍男 先生

第7回 2009年2月15日：参加者数166名（アクトシティ浜松 コンgressセンター）

テーマ：「 どうしたらいいの！乳房再建 」

基調講演：「 こうしたらいいのよ。乳房再建 」

ブレストサージャリークリニック 岩平 佳子 先生

第8回 2009年8月23日：参加者数215名（アクトシティ浜松 コンgressセンター）

テーマ：「 役立てよう！ 患者さんのためのガイドライン 」

基調講演：「 みんなで読もう！乳がん診療ガイドライン 」

九州がんセンター 乳腺科 大野 真司 先生

第9回 2010年2月14日：参加者数250名（アクトシティ浜松 コンgressセンター）

テーマ：「 ここまで進んだ！乳がん薬物治療 」

基調講演：「 一緒に学ぼう、乳がん最新治療 」

浜松オンコロジーセンター 腫瘍内科 渡辺 亨 先生

第10回 2010年8月22日：参加者数176名（アクトシティ浜松 コンgressセンター）

テーマ：「 まかせて安心！ 乳がん看護 」

基調講演：「 乳がん診療における看護師の役割 」

千葉県立保健医療大学 健康科学部 看護学科 阿部 恭子 先生

第11回 2011年2月20日：参加者数146名（アクトシティ浜松 コンgressセンター）

テーマ：「 知って安心 放射線治療のすべて 」

基調講演：「 よくわかる 放射線治療 」

県西部浜松医療センター 放射線治療科 飯島 光晴 先生

第12回 2011年8月21日：参加者数182名（アクトシティ浜松 コンgressセンター）

テーマ：「 がん不安なあなたへ ～心のケアの道しるべ～ 」

基調講演：「 がん患者さんへのところのケア 」

広島大学大学院 保険学研究科 岡村 仁 先生

第 13 回 2012 年 2 月 19 日 : 参加者数 190 名 (アクトシティ浜松 コンgressセンター)

テーマ : 「乳がん病理診断 - あなたの治療の道しるべ -」

基調講演 : 「乳がん診療の司令塔 : 病理」

がん研究会 がん研究所 病理部 秋山 太 先生

第 14 回 2012 年 8 月 19 日 : 参加者数 242 名 (アクトシティ浜松 コンgressセンター)

テーマ : 「正しく知ろう「乳がん」と「遺伝」」

基調講演 : 「家族性乳癌の診断と治療 -現状と今後の展望-」

昭和大学医学部 乳腺外科 中村 清吾 先生

第 15 回 2013 年 2 月 17 日 : 参加者数 201 名 (アクトシティ浜松 コンgressセンター)

テーマ : 「乗り越えよう ! 抗がん剤の副作用」

基調講演 : 「抗がん剤とその副作用への誤解を解く」

日本医科大学 武蔵小杉病院 勝俣 範之 先生

第 16 回 2013 年 6 月 30 日 : 参加者数 403 名 (アクトシティ浜松 中ホール)

テーマ : 「乳がん公開セミナー」

基調講演 : 「乳がんに負けない ! -明日を拓く侍やなでしこ達の熱き闘い-」

昭和大学 医学部 中村 清吾 先生

パネルディスカッション 「みんなで語ろう 乳がん治療」

浜松オンコロジーセンター

腫瘍内科 渡辺 亨 先生

あけぼの会

ワット 隆子 様

昭和大学医学部

ブレストセンター 中村 清吾 先生

九州がんセンター

乳腺科 大野 真司 先生

宮良クリニック

乳腺科 宮良 球一郎 先生

青森県立中央病院

成田 富美子認定 看護師

浜松オンコロジーセンター

角谷 京子 看護師

第 17 回 2014 年 2 月 17 日 : 参加者数 198 名 (アクトシティ浜松 コンgressセンター)

テーマ : 「 乳がん診療 最前線 」

基調講演 : 「 乳がん診療の今 」

- | | | |
|--------|--------------|----------|
| ・乳がん検診 | 聖隷浜松病院 | 吉田 雅行 先生 |
| ・外科手術 | 浜松医療センター | 徳永 祐二 先生 |
| ・画像検査 | 浜松医科大学 | 小倉 廣之 先生 |
| ・薬物療法 | 浜松オンコロジーセンター | 渡辺 亨 先生 |

第 18 回 2014 年 8 月 24 日 : 参加者数 170 名 (アクトシティ浜松 コンgressセンター)

テーマ : 「 乳がん患者サポート 最前線 」

基調講演 : 「 私たち、乳がん患者さんを支えます 」

- ・患者の立場からの生活サポート～「あなたの心に灯をともす」10年の挑戦
株式会社 VOL-NEXT 曾我 千春 さん
- ・身近にある患者サポート～この地域で役立つ情報
株式会社 PEER 佐藤 真琴 さん

第 19 回 2015 年 2 月 15 日 : 参加者数 213 名 (アクトシティ浜松 コンgressセンター)

テーマ : 「 こころの処方せん 」

基調講演 : 「 いい覚悟で生きる～がん哲学外来の処方箋 」

順天堂大学 医学部 病理・腫瘍学 / 社団法人 がん哲学外来 樋野 興夫 先生

第 20 回 2015 年 8 月 30 日 : 参加者数 213 名 (アクトシティ浜松 コンgressセンター)

テーマ : 「 貴方のための 乳がん診療 2015 」

基調講演 : 「 街角がん診療 この 10 年の歩み 」

浜松オンコロジーセンター 腫瘍内科 渡辺 亨 先生

第 21 回 2016 年 3 月 20 日 : 参加者数 148 名 (アクトシティ浜松 コンgressセンター)

テーマ : 「 抗がん剤は効きますか? 」

基調講演 : 「 患者の「なぜ」に答える 乳がん薬物療法 」

浜松オンコロジーセンター 腫瘍内科 渡辺 亨 先生

第 22 回 2016 年 8 月 28 日 : 参加者数 134 名 (アクトシティ浜松 コンgressセンター)

テーマ : 「 乳がん薬物療法の副作用を考える 」

基調講演 : 「 正しく知り正しく対処しよう、自分のために 」

浜松オンコロジーセンター 腫瘍内科 渡辺 亨 先生

第 23 回 2017 年 10 月 15 日 : 参加者数 120 名 (アクトシティ浜松 コンgressセンター)

テーマ : 「 芸能人の闘病報道を考える 」

基調講演 : 「 正しい情報は安心の灯 」

浜松オンコロジーセンター 腫瘍内科 渡辺 亨 先生

第 24 回 2018 年 9 月 30 日 : 参加者数 0 名 (アクトシティ浜松 コンgressセンター)

テーマ : 「 がん診療の誤解を解く 」

基調講演 : 「 抗がん剤治療の誤解を解く～知ってほしいがんの正しい知識～ 」

日本医科大学武蔵小杉病院 腫瘍内科 勝俣 範之 先生

※台風の為開催を中止し、改めて 2019 年に開催いたしました。

第 24 回 2019 年 8 月 25 日 : 参加者数 140 名 (アクトシティ浜松 コンgressセンター)

テーマ : 「 がん診療の誤解を解く 」

基調講演 : 「 抗がん剤治療の誤解を解く～知ってほしいがんの正しい知識～ 」

日本医科大学武蔵小杉病院 腫瘍内科 勝俣 範之 先生

第 25 回 2021 年 -月 --日 : 参加者数※※※名 (アクトシティ浜松 コンgressセンター)

テーマ : 「 -検討中- 」

基調講演 : 「 -- 」

国立国際医療研究センター病院 乳腺腫瘍内科 清水 千佳子 先生

浜松オンコロジーフォーラム

担当理事 渡辺

大学、一般病院、診療所における癌診療を「オンコロジー」という臨床医学として包括し、招待演者による実践的課題、先進的課題に関する講演および質疑応答を通じて臨床腫瘍医学の普及、定着を図る学術集会を行っております。2020年度につきましてはコロナ禍により開催を見送っております。

第1回 2007年2月16日：参加者数 55名（アクトシティ浜松 コングレスセンター）

Practical session

「化学療法の副作用マネージメント」

国立がんセンター中央病院 肺内科 山本 昇 先生

Scientific session

「肺がん化学療法における分子標的薬剤の位置づけ」

静岡県立静岡がんセンター 呼吸器内科 山本 信之 先生

「乳がん治療の今日と明日」

国立がんセンター東病院 化学療法科 向井 博文 先生

第2回 2007年8月25日：参加者数 45名（アクトシティ浜松 コングレスセンター）

Practical session

「臨床医に必要な生物統計学」

東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻 生物統計学 大橋 靖雄 先生

Scientific session

「泌尿器がんの薬物療法について」

国立がんセンター中央病院 腫瘍内科 河野 勤 先生

「消化器がんに関する話題」

国立がんセンター中央病院 総合病棟部 白尾 國昭 先生

特定非営利活動法人 がん情報局

第3回 2008年2月23日：参加者数 45名（アクトシティ浜松 コンgressセンター）

Practical session

「エビデンスに基づかないEBMの実践」

地域医療振興協会 地域医療研修センター 名郷 直樹 先生

「放射線治療の理論と実際」

琉球大学大学院医学研究科 放射線医学分野 戸板 孝文 先生

Scientific session

「日本の婦人科がん治療レベルが世界的レベルになるには？」

国立がんセンター中央病院 腫瘍内科 勝俣 範之 先生

第4回 2008年8月23日：参加者数 62名（アクトシティ浜松 コンgressセンター）

Practical session

「がん治療におけるコミュニケーション」

市立秋田総合病院 外科 橋爪 隆弘 先生

「浜松における地域緩和ケアプロジェクト（OPTIM）と

OPTIM 標準テキストにしたがったがん性疼痛治療」

聖隷三方原病院 緩和支援治療科 森田 達也 先生

Scientific session

「胃がん術後の治療戦略」

兵庫医科大学 上部消化管外科 笹子 三津留 先生

第5回 2009年2月21日：参加者数 111名（浜松市楽器博物館 研修交流センター）

Practical session

「がん治療における栄養療法・管理の考え方」

箕面市立病院 外科兼診療情報管理室 飯島 正平 先生

Scientific session

「頭頸部癌における薬物療法の現状と今後」

自治医科大学附属病院 臨床腫瘍科 藤井 博文 先生

「食道癌治療：化学放射線療法は手術を超えたか？」

静岡県立総合病院 外科・核医学科 高木 正和 先生

「乳がん術後化学療法におけるアントラサイクリンとドセタキセルの役割」

浜松オンコロジーセンター 腫瘍内科 渡辺 亨 先生

特定非営利活動法人 がん情報局

第6回 2010年4月24日：参加者数 83名（浜松市楽器博物館 研修交流センター）

Scientific session

「抗悪性腫瘍薬治療における薬物動態のばらつきを考える

抗がん剤治療は、副作用がないと効果も期待できないのか-」

京都大学医学部附属病院 外来化学療法部 石黒 洋 先生

Practical session

「肝炎ウイルスキャリアの患者への抗がん剤治療」

名古屋市立大学大学院医学研究科 腫瘍免疫内科学 楠本 茂 先生

「産婦人科からみた血栓症発症予防法」

奈良県立医科大学 産婦人科 小林 浩 先生

第7回 2010年10月16日：参加者数 75名（浜松市楽器博物館 研修交流センター）

Scientific session

「消化器がん化学療法の最近の話題」

国立がん研究センター中央病院 消化管腫瘍科 濱口 哲弥 先生

Practical session

「がん治療を口から支える口腔ケア」

静岡県立静岡がんセンター 歯科・口腔外科 大田 洋二郎 先生

「がん医療における看護師の役割」

癌研究会有明病院 看護部 濱口 恵子 先生

第8回 2011年4月23日：参加者数 89名（浜松市楽器博物館 研修交流センター）

Scientific session

「ザンクトガレン合意会議の意義」

浜松オンコロジーセンター 腫瘍内科 渡辺 亨 先生

Practical session

「がん性皮膚潰瘍の悪臭に対するメトロニダゾール外用剤の工夫」

昭和薬科大学 医療薬学教育研究センター 渡部 一宏 先生

「がん薬物療法治療に伴う皮膚症状の診かた、治し方」

国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科 山崎 直也 先生

特定非営利活動法人 がん情報局

第9回 2011年10月8日：参加者数 76名（浜松市楽器博物館 研修交流センター）

「胃がんにおける分子治療薬の現状と展開」

聖マリアンナ医科大学 臨床腫瘍学講座 朴 成和 先生

「悪性リンパ腫治療の最近の話題」

国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科 飛内 賢正 先生

「地域がん医療 - 今何が求められているのか -」

青森県立中央病院 吉田 茂昭 先生

第10回 2012年4月21日：参加者数 57名（浜松市楽器博物館 研修交流センター）

「医療のプロフェッショナリズム」

浜松オンコロジーセンター 腫瘍内科 渡辺 亨 先生

「がんの内視鏡治療の最新の話」

静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科 小野 裕之 先生

「大腸 SM がんの診断と治療をめぐる諸問題」

松田病院 内視鏡センター 浅野 道雄 先生

「術前薬物療法を基盤にした乳がん外科治療」

浜松医療センター 乳腺外科 徳永 祐二 先生

第11回 2012年10月20日：参加者数 55名（浜松市楽器博物館 研修交流センター）

「がん研究の斬り方 ～祈祷師(?)から生存時間解析まで～」

東京医科歯科大学 医学部 保健衛生学科 大学院

Mebix 株式会社 研究企画グループ 大橋 渉 先生

「疫学研究入門 がんと食事の関連を調べる」

国立がん研究センター がん対策情報センター 山本 精一郎 先生

「進行非小細胞肺癌に対する分子標的治療薬の役割と課題」

静岡県立静岡がんセンター 呼吸器内科 山本 信之 先生

第12回 2013年4月20日：参加者数 60名（浜松市楽器博物館 研修交流センター）

「緩和ケアを考える」

埼玉県立がんセンター 緩和ケア科 余宮 きのみ 先生

「がん患者へのこころのケア」

相原病院乳腺科 関西労災病院リエゾン精神看護専門看護師 早川 昌子 先生

「抗がん剤による発熱性好中球減少症」

日本医科大学武蔵小杉病院 腫瘍内科 勝俣 範之 先生

特定非営利活動法人 がん情報局

第 13 回 2013 年 10 月 19 日：参加者数 40 名（アクトシティ浜松 コンgressセンター）

「 「遺伝性乳がん卵巣がん」診療の実際 」

高知大学教育研究部 医療学系臨床医学部門 杉本 健樹 先生

「 外科医の神髄：“外科医の掟（おきて） ” 」

静岡県立総合病院 消化器センター 高木 正和 先生

「 看取りから見た肝臓治療 」

佐々木研究所附属 杏雲堂病院 消化器・肝臓内科 小尾 俊太郎 先生

第 14 回 2014 年 4 月 12 日：参加者数 65 名（アクトシティ浜松 コンgressセンター）

「 乳がんに対する抗 HER2 療法の正しい使い方 」

浜松オンコロジーセンター 腫瘍内科 渡辺 亨 先生

「 根治治療のための支持療法、研究の難しさとのアウトカム 」

国立がん研究センター東病院 粒子線医学開発分野 照射技術開発室 全田 貞幹 先生

「 QOL の正しい評価方法を学ぶ 」

立命館大学 生命科学部 生命医科学科 下妻 晃二郎 先生

第 15 回 2014 年 10 月 18 日：参加者数 61 名（静岡新聞ホール）

「 胃がん化学療法の新潮流 -患者さんもスタッフも安心な抗がん剤治療のために- 」

神戸市立医療センター 中央市民病院 腫瘍内科・がんセンター 辻 晃仁 先生

「 非小細胞肺癌（NSCLC）治療の最近の話題：外科手術と分子標的治療 」

国立がん研究センター東病院 呼吸器外科 坪井 正博 先生

「 卵巣がん・子宮がんの薬物療法 」

日本医科大学 武蔵小杉病院 腫瘍内科 勝俣 範之 先生

第 16 回 2015 年 4 月 18 日：参加者数 55 名（アクトシティ浜松 コンgressセンター）

「 乳腺超音波ブレイクスルー 正常構造に基づく新しい乳房超音波検査法 」

高松平和病院 外科 何森 亜由美 先生

「 乳腺の MRI 診断 -上手に使いこなすコツ- 」

亀田京橋クリニック診療部 画像センター 戸崎 光宏 先生

「 St. Gallen 2015 から学ぶこと 」

浜松オンコロジーセンター 腫瘍内科 渡辺 亨 先生

特定非営利活動法人 がん情報局

第 17 回 2015 年 10 月 24 日：参加者数 29 名（アクトシティ浜松 コンgressセンター）

「 新規抗がん治療開発のための全国規模の産学連携遺伝子スクリーニング 」

国立がん研究センター 先端医療開発センター TR 分野 土原 一哉 先生

「 OncotypeDX の evidence と保険収載への道 」

昭和大学 医学部 乳腺外科 明石 定子 先生

第 18 回 2016 年 4 月 16 日：参加者数 46 名（静岡新聞ホール）

「 肺がん治療最前線 」

国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 先端医療科 山本 昇 先生

「 ホルモン陽性乳癌に対する新しい治療戦略 」

公立大学法人 福島県立医科大学 腫瘍内科学講座 佐治 重衡 先生

第 19 回 2016 年 10 月 1 日：参加者数 36 名（静岡新聞ホール）

「 アドバンスドケアプランニングの実際 ～がん緩和ケアの観点から 」

はしづめクリニック 橋爪 隆弘 先生

「 SPARCS（スパークス）～がんの沈痛効果を調査した「ビッグデータ」から見えてきたこと 」

日本赤十字社医療センター 緩和ケア科 的場 元弘 先生

第 20 回 2017 年 4 月 15 日：参加者数 60 名（静岡新聞ホール）

「 第 15 回 St.Gallen Early Breast Cancer Conference を読み解く 」

浜松オンコロジーセンター 腫瘍内科 渡辺 亨 先生

「 乳腺病理の着実な進歩 - これからの課題 」

がん研有明病院 / がん研究所 病理部 堀井 理絵 先生

第 21 回 2017 年 9 月 16 日：参加者数 39 名（TKP 浜松アクトタワーカンファレンスセンター）

「 がん免疫療法の正しい理解 」

国立がん研究センター中央病院 先端医療科 北野 滋久 先生

「 がん内分泌療法 最近の疑問 」

浜松オンコロジーセンター 腫瘍内科 渡辺 亨 先生

特定非営利活動法人 がん情報局

第 22 回 2018 年 4 月 21 日：参加者数 35 名（アクトシティ浜松 コンgressセンター）

「高機能がん診療所のすすめ」

浜松オンコロジーセンター 腫瘍内科 渡辺 亨 先生

「沈みゆく船の上で想うこと」

日本赤十字社医療センター 化学療法科 國頭 英夫 先生

第 23 回 2019 年 4 月 13 日：参加者数 49 名

（TKP 浜松アクトタワー カンファレンスセンター）

「3年間の米国留学で学んだこと」

静岡県立総合病院 乳腺外科 松沼 亮一 先生

「St.Gallen 2019：乳癌初期治療これからの方向性」

浜松オンコロジーセンター 腫瘍内科 渡辺 亨 先生

第 24 回 2021 年 予定：参加者数 ※※名（アクトシティ浜松 コンgressセンター）

「我が国の乳がん臨床試験 夜明け前から日の出まで」

浜松オンコロジーセンター 腫瘍内科 渡辺 亨 先生

「JCOG 乳癌グループを率いて 9 年」

愛知県がんセンター 乳腺科 岩田 広治 先生

中部乳がん会議

担当理事 渡辺

若手の医師を対象として、テーマに関して班に分かれた活発なディベートと臨床試験立案の検討を主体として症例検討を行う会議を行っております。

当法人としては、第5回開催分より開催を担当させて頂いており、2020年度につきましては、コロナ禍の状態を鑑み、開催を見送りました。

第5回 2009年3月7-8日：参加者数27名（愛知健康プラザ）

特別講演：「乳がん初期治療の基本的な考え方」

浜松オンコロジーセンター 腫瘍内科 渡辺 亨 先生

ディベートテーマ

症例①：Stage IV乳癌の原発巣切除の是非

症例②：Triple negative 乳癌への術前化学療法

症例③：高齢者 HER2:3+乳癌への術後治療

症例④：再発 first line での抗がん剤 単剤 vs 併用

第6回 2010年3月6-7日：参加者数26名（愛知健康プラザ）

特別講演：「乳癌診療のマクロとミクロ」

岩手医科大学 外科学講座 柏葉 匡寛 先生

特別講演：「乳がんの術前広がり診断は必要か」

国立がんセンター中央病院 乳腺外科 明石 定子 先生

ディベートテーマ

症例①：Herceptin 継続 vs Herceptin 中止

症例②：RT+TAM vs RT のみ

症例③：術前化学療法→手術（可能なら温存）vs 乳房切除術+同時再建

症例④：ホルモン療法のみ vs 化学療法→ホルモン療法

特定非営利活動法人 がん情報局

第7回 2011年3月5-6日：参加者数39名（愛知健康プラザ）

特別講演：「 Luminal A/B 型乳癌における生物学的特性の差異について 」

熊本大学大学院生命科学研究部 乳腺・内分泌外科学講座 山本 豊 先生

ディベートテーマ

症例①：AC(EC) or FEC vs Anthra → Taxan

症例②：Ax 郭清追加 vs Ax 省略のまま

症例③：LH-RH agonist + TAM vs 化学療法 + TAM(±LH-RH agonist)

症例④：LH-RH agonist +AI (±RT)

vs 化療 (FEC100x4→PTXqw x12) → LH-RH agonist +AI (±RT)

第8回 2012年3月3-4日：参加者数30名（愛知健康プラザ）

特別講演：「 地域完結型チームワーク医療 ～高次機能診療所を目指して 」

宮良クリニック 宮良 球一郎 先生

ディベートテーマ

症例①：RTのみ VS RT + ホルモン療法

症例②：肺の生検→治療法決定 VS 乳癌の肺転移として治療開始

症例③：抗HER2療法 + ホルモン療法 VS 抗HER2療法 + 化学療法

症例④：化療 + ホルモン療法 VS ホルモン療法のみ

第9回 2013年3月2-3日：参加者数32名（愛知健康プラザ）

特別講演：「 君たちに伝えたいこと 」

浜松オンコロジーセンター 腫瘍内科 渡辺 亨 先生

ディベートテーマ

症例①：定期的に脳MRIを施行する VS 症状が出るまで脳に関する検査はしない

症例②：化学療法を継続 VS RT + ホルモン療法に変更

症例③：化学療法 → ホルモン療法 VS ホルモン療法のみ

症例④：このまま温存手術を勧める VS 全摘手術（+再建）を勧める

特定非営利活動法人 がん情報局

第 10 回 2014 年 3 月 8-9 日：参加者数 25 名（愛知健康プラザ）

特別講演：「オンコロジストのキャリアパスを考える：一女性医師の立場から」

国立がん研究センター中央病院 清水 千佳子 先生

ディベート・臨床試験案提示

症例①：LH-RH アゴニスト 2 年+タモキシフェン 5 年

VS LH-RH アゴニスト 5 年+タモキシフェン 10 年

症例②：アストゾール+ゾメを明らかな増悪（画像、自覚症状）認められるまで継続。

VS 内分泌療法剤の変更（フルベストラントなど）

第 11 回 2015 年 2 月 28-3 月 1 日：参加者数 23 名（愛知健康プラザ）

特別講演：「我が国の乳癌診療の未来を考える -次世代の専門医育成のために-」

聖マリアンナ医科大学 津川 浩一郎 先生

ディベート・臨床試験案提示

症例①：術前薬物療法として、化学療法を勧める。

VS 術前薬物療法として、ホルモン療法を勧める。

症例②：内分泌療法のみ VS 化学療法 → 内分泌療法

第 12 回 2016 年 2 月 27-28 日：参加者数 20 名（愛知健康プラザ）

特別講演：「蝶より薔薇へ - 乳がん患者へのミッション -」

聖路加国際大学 山内 英子 先生

ディベート・臨床試験案提示

症例①：術式の決定に MRI は必要 VS 術式の決定に MRI は不要

症例②：腋窩リンパ節郭清術は省略する VS 腋窩リンパ節郭清術は省略しない

第 13 回 2017 年 2 月 25-26 日：参加者数 20 名（愛知健康プラザ）

特別講演：「信頼性・インパクトのある臨床研究を行うために

- SEER program を用いたコホート研究の経験から -」

相良病院 相良 安昭 先生

ディベート・臨床試験案提示

症例①：CEF(100) x 4 → weekly PTX(80) x 12

VS CEF(100) x 4 → CBDCA AUC5/weekly PTX(80) dat1, 8, 15/q3wks x 4

症例②：一次治療として、パルボシクリブ+レトロゾール勧める VS フルベストラント勧める

特定非営利活動法人 がん情報局

第 14 回 2018 年 2 月 3-4 日：参加者数 24 名（愛知健康プラザ）

特別講演：「臨床医が研究をするということ」

聖路加国際病院 林 直輝 先生

ディベート・臨床試験案提示

症例①：内分泌療法のみを勧める VS 化学療法→内分泌療法を勧める

症例②：LH-RH アゴニスト+アロマトラーゼ阻害剤を勧める

VS LH-RH アゴニスト+フルベストラント+パルボシクリブを勧める

第 15 回 2019 年 2 月 2-3 日：参加者数 24 名（愛知健康プラザ）

特別講演：「原因と結果の法則—駒込病院での 13 年—」

がん・感染症センター都立駒込病院 有賀 智之 先生

ディベート・臨床試験案提示

症例①：フルベストラント+CDK4/6 阻害剤を勧める VS PARP 阻害剤 を勧める

症例②：内分泌療法単剤を勧める VS 内分泌療法+CDK4/6 阻害剤併用を勧める

第 16 回 2020 年 2 月 1-2 日：参加者数 23 名（愛知健康プラザ）

特別講演：「私と乳がん」

愛知県がんセンター 岩田 広治 先生

ディベート・臨床試験案提示

症例①：ZOL+TAM VS ZOL+AI を勧める

症例②：Atezolizumab + nabPTX VS Bevacizumab + PTX を勧める

がん看護フォーラム 21

担当理事 天野

乳がん看護に必要な事を基礎から学び、普段臨床で悩んでいる看護について情報交換を行い、日々の看護に役立てることを目的とした勉強会を行っております。
2020年度につきましては、コロナ禍により開催を見送っております。

第1回 2011年1月30日：参加者数65名（浜松駅ビル メイワン）

テーマ：「基礎から学ぼう 乳がん看護」

「がん薬物療法の基礎知識」 浜松オンコロジーセンター 腫瘍内科 渡辺 亨 先生

「がん看護の極意」 千葉県立保健医療大学 健康科学部 看護学科 阿部 恭子 先生

SGDテーマ：「がん看護についての意見・情報交換」

第2回 2011年6月4日：参加者数40名（浜松駅ビル メイワン）

テーマ：「基礎から学ぼう 乳がん看護～初期治療編」

「がん治療方針の組み立て方」 浜松医療センター 乳腺外科 徳永 祐二 先生

「乳がん患者の初期治療選択を支える看護」 浜松医療センター 看護部 天野 一恵 先生

SGDテーマ：「乳がん初期治療選択について考えよう」

第3回 2012年1月21日：参加者数35名（アクトシティー浜松 コンgressセンター）

テーマ：「乳がん周術期とボディイメージ」

「看護に生かそう、乳がん周術期の基本」

千葉大学大学院看護学研究科 博士前期課程 成人看護学教育研究分野 金澤 麻衣子 先生

「知って得するボディイメージの話」

浜松医療センター がん看護専門看護師 小野田 弓恵 先生

SGDテーマ：「周術期の症例を通して考えよう」

特定非営利活動法人 がん情報局

第4回 2012年9月1日：参加者数 50名（アクトシティ浜松 研修交流センター）

テーマ：「乳がん放射線療法と看護」

「今話題の放射線療法 - 乳房温存療法 - 」

浜松医療センター 放射線治療科 飯島 光春 先生

「放射線療法を受ける乳がん患者の看護」

聖隷クリストファー大学 看護部 森本 悦子 先生

SGD テーマ：「乳房温存療法を行う患者の看護について」

第5回 2013年2月2日：参加者数 58名（浜松医療センター講堂）

テーマ：「乳がん自壊創の看護」

「臨床に役立つ乳がん皮膚転移の話」 浜松医療センター 乳腺外科 小林 英絵 先生

「乳がん自壊創のケア」 JA 静岡厚生連 遠州病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 森 和美 先生

SGD テーマ：「乳がん自壊創の看護について」

第6回 2013年11月23日：参加者数 50名（浜松医療センター講堂）

テーマ：「がん患者の家族ケア」

「家族ががんになったとき」 聖隷クリストファー大学 看護研究科 荒川 靖子 先生

「どうしたらいいの がん患者の家族ケア」

聖隷三方原病院 がん看護専門看護師 佐久間 由美 先生

SGD テーマ：「乳がん患者の家族への関わり方」

第7回 2014年7月26日：参加者数 50名（浜松医療センター講堂）

テーマ：「基礎から学ぼう乳がん看護～再発治療編～」

「乳がん再発治療の組み立て方」 浜松医科大学 乳腺外科 病院講師 小倉 廣之 先生

「危機の分析と看護介入～乳がん再発時の患者の心理」

聖隷クリストファー大学 看護学部 准教授 樺澤 三奈子 先生

SGD テーマ：「乳がん再発期の看護について」

特定非営利活動法人 がん情報局

第8回 2015年1月17日：参加者数32名（浜松医療センター講堂）

テーマ：「がんサバイバー支援」

「がんサバイバーへの支援を考える ～回復的がんリハビリテーションに焦点を当てて～」

浜松医科大学 医学部 看護学科 森 恵子 先生

「患者会としての支援と役割」

あけぼの岐阜 橋渡 智美 さん

「がん体験者として」

株式会社 PEER 柴田 美紀 さん

SGD テーマ：「がんサバイバーの体験理解と看護」

第9回 2015年10月4日：参加者数44名（浜松医療センター講堂）

テーマ：「リンパ浮腫の基礎と看護の実際」

「リンパ浮腫の発症要因とメカニズム」

浜松オンコロジーセンター 乳腺外科 平方 智子 先生

「リンパ浮腫患者の看護」 千葉大学医学部附属病院 がん看護専門看護師 奥 朋子 先生

SGD テーマ：「症例からリンパ浮腫患者への対応について考える」

第10回 2016年7月2日：参加者数43名（浜松医療センター講堂）

テーマ：「これからの地域連携」

「患者の生活と治療を支える看護 ～病院で働く看護師の立場から～」

聖隷三方原病院 看護相談室 がん看護専門看護師 大木 純子 先生

「患者の生活と治療を支える看護 ～居宅支援ケアマネジメントの立場から～」

きちっと居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 佐藤 文恵 先生

SGD テーマ：「事例を通して在宅支援について考えよう」

第11回 2017年11月18日：参加者数21名（浜松医療センター講堂）

テーマ：「今さら聞けないがん薬物療法とその副作用」

「みばえ障害をおこす薬剤治療の勘どころ」

浜松オンコロジーセンター 腫瘍内科 渡辺 亨先生

「皮膚障害～ケアと治療の勘どころ～」

浜松医科大学医学部附属病院 皮膚科 平川 聡史先生

SGD テーマ：「事例を通してがん薬物療法を受ける患者の看護について考えよう」

特定非営利活動法人 がん情報局

第 12 回 2018 年 11 月 18 日：参加者数 21 名（浜松医療センター講堂）

テーマ：「遺伝性がんを理解するための遺伝学の基礎中の基礎を学ぼう」

「 遺伝とがんーがんと遺伝 」

高知大学病院教授 乳腺外科 杉本 健樹 先生

「 今知っておきたいがんと遺伝のはなし 」

浜松医科大学 遺伝子診療部 認定遺伝カウンセラー 福江 美咲 先生

SGD テーマ：「 遺伝学基礎の復習、家系樹の描き方、カウンセリングの理解 」

第 13 回 2019 年 11 月 30 日：参加者数 26 名（浜松医療センター講堂）

テーマ：「看護実践に欠かせない倫理を学ぼう」

「 看護倫理のきほん～倫理原則について～ 」

聖隷三方原病院 がん看護専門看護師 佐久間 由美 先生

「 看護倫理を現場で活かす！ 」

相原病院乳腺科 関西労災病院 リエゾン精神看護専門看護師 早川 昌子 先生

SGD テーマ：「 倫理の視点で事例検討をしてみよう 」

乳がん症例検討会 on the Web

担当理事 後藤

2005年7月13日より、浜松及びその周辺地区における乳がん診療に携わる医師、看護師、薬剤師、放射線技師、研修医及びその他の医療従事者が参加して月2回カンファレンスを行っておりましたが、2020年度10月より月に1度、webを介して開催しております。

参加施設

- ・ 浜松医療センター
- ・ 浜松 PET 診断センター
- ・ 浜松医科大学医学部附属病院
- ・ 聖隷浜松病院
- ・ 遠州病院
- ・ 浜松オンコロジーセンター
- ・ 神田クリニック
- ・ とものクリニック
- ・ 磐田市立総合病院
- ・ 袋井市民病院
- ・ すずかけセントラル病院
- ・ 浜松労災病院
- ・ 練馬光が丘病院
- ・ はんど薬局

など

参加者数 平均 13 拠点

・ 2021-2022 年 乳がん症例検討会 on the Web 開催実績

開催日	参加人数	検討内容
4月7日	14人	初期治療相談×4
6月2日	16人	St.Gallen2021に関するレクチャー
7月7日	13人	症例検討×3
9月1日	8人	コロナの近況報告 症例検討×1 オンコタイプDX検査に関する検討
10月6日	13人	症例検討×2
11月17日	10人	症例検討×2
12月1日	11人	オンコタイプDX検査に関する検討
令和4年 1月5日	16人	症例検討×4
2月2日	12人	症例検討×1 オンコタイプDX検査に関する検討
3月2日	17人	症例検討×3

遠隔地多地点連携（看護）カンファレンス （たちてん・たちてん看護）

担当理事 渡辺

2008年11月5日より北は北海道、南は沖縄県までの日本各地をwebで結び、医師、看護師、薬剤師及び医療従事者が参加して症例検討や発表を行うカンファレンスを月に2度行っております。2020年12月よりシステムを変更して、ZOOMを利用しており、参加拠点の確認だけになっております。たちてんについては2022年2月17日に第150回、たちてん看護については、2022年1月17日に第110回を開催しました。

- ・ 宮良クリニック (沖縄県)
- ・ 那覇市立病院 (沖縄県)
- ・ 相良病院 (鹿児島県)
- ・ 高知大学 (高知県)
- ・ 松山市民病院 (愛媛県)
- ・ 多度津三宅病院 (香川県)
- ・ 相原病院 (大阪府)
- ・ 大阪医科大学附属病院 (大阪府)
- ・ 乳腺ケア泉州クリニック (大阪府)
- ・ 大阪南医療センター (大阪府)
- ・ 浜松オンコロジーセンター (静岡県)
- ・ 日本医大 武蔵小杉病院 (神奈川県)
- ・ 佐々木研究所附属 杏雲堂病院 (東京都)
- ・ 東京大学病院 (東京都)
- ・ 練馬光が丘病院 (東京都)
- ・ 獨協医科大学病院 (栃木県)
- ・ はしづめクリニック (秋田県)
- ・ 青森県立中央病院 (青森県)
- ・ 青森市民病院 (青森県)
- ・ 北海道がんセンター (北海道)
- ・ 砂川市立病院 (北海道)
- ・ その他、各拠点の近隣施設

遠隔地多地点連携カンファレンス開催実績

開催日	プレゼンテーション拠点	拠点数	プレゼンテーション内容
4月15日	杏雲堂病院 宮良クリニック	16人	症例提示 症例提示
5月20日	浜松オンコロジーセンター 東京大学医学部附属病院 高知大学医学部附属病院 獨協医科大学病院	33人	St.Gallen 2021_レクチャー
6月17日	浜松オンコロジーセンター	23人	St.Gallen 2021 の続き_レクチャー
7月15日	杏雲堂病院	24人	ASCO2021_レクチャー
9月17日	杏雲堂病院	27人	トリプルネガティブ乳がんに関するチェックポイント阻害薬と抗がん剤の併用について_レクチャー
10月21日	多度津三宅病院 高知大学	32人	妊娠期同時両側乳がん_症例提示 乳がん診療に役立つ Genetics と Genomics の基本_レクチャー
11月18日	杏雲堂病院	24人	リンパ節転移陽性閉経前では OncotypeDX は不必要で全例化学療法を施行すべき_レクチャー
12月16日	浜松オンコロジーセンター	33人	St. Gallen Conference からみた日本国の特殊性 Focused on Genetics_レクチャー
1月20日	大阪医科薬科大学病院	23人	免疫チェックポイント阻害薬(IHI) -薬剤並びにレジメンの選択に関して-
2月17日	那覇市立病院	18人	腫瘍塞栓性肺微小血管障害症を引き起こした乳がん症例の検討
3月17日	帝京大学医学部附属病院	13人	HER2 陽性乳癌と脳転移について症例とレクチャー

遠隔地多地点連携看護カンファレンス開催実績

開催日	プレゼンテーション拠点	拠点数	プレゼンテーション内容
2021年 4月12日	杏雲堂病院	17人	術前化学療法後、 手術に関する意思決定に時間を要した 事例を振り返る
5月10日	浜松オンコロジーセンター	11人	告知後の患者さんとの関わりについて
6月14日	青森県立病院	13人	乳房温存直後にHBOCが判明した患者 のその後の意思決定に関わった経験
7月12日	多度津三宅病院	15人	SさんのACPを振り返って ～ACPの難しさ
9月13日	宮良クリニック	14人	Mさんの事例を振り返って 乳がん終末期について考える
10月11日	練馬光が丘病院	12人	たちてん看護について 曝露対策や支持療法について
11月8日	練馬光が丘病院	11人	曝露対策について ブレイクアウトルームによるSGD
12月13日		11人	オンコタイプDXについて 患者アンケート結果からの考察
1月17日	浜松オンコロジーセンター	14人	娘とケンカをしてキーパーソンがいなくな ったNさんへの関わり
2月14日	杏雲堂病院	16人	遠方の家族への病状の伝え方
3月14日	多度津三宅病院	11人	混乱のある進行乳がん患者の看護

広報媒体

- NPO 法人 がん情報局のポータルサイト
<http://ganjoho.org/>
携帯でのアクセス対応準備中
- お知らせメール：イベントや資料の up に関するご連絡
<http://ganjoho.org/mail/index.html>
- 事務局ブログ
<http://blog.canpan.info/ganjoho/>

今後の主な活動予定

■ 2022 年度

» 年次開催行事

- 第 13 回 活動報告会
- 第 25 回 乳がん市民公開講座
- 第 25 回 浜松オンコロジーフォーラム
- 第 14 回 がん看護フォーラム 21
- 第 17 回 中部乳がん会議

» 通年開催行事

- 毎月 第 1 水曜日 乳がん症例検討会 on the Web
- 毎月 第 2 月曜日 遠隔地多地点連携看護カンファレンス
- 毎月 第 2 金曜日 乳がん画像診断勉強会
- 毎月 第 3 木曜日 遠隔地多地点連携カンファレンス

2022 年 6 月 現在